

# シードポイント規定

## ＜ポイントを決める上での基本的な考え方＞

1. できるだけ、今までのシードの決めに近いものにする。
2. 高体連の団体なので、高体連主催の大会を重要視する。
3. 大会に関しては、1～8位まで順位を付けているものは順位に合わせてポイントも格差を付ける。

## ＜規定＞

1. シードポイント対象大会において、過去1年間に取得したポイントのうち、得点の高い順に3大会の成績を合計しポイントとする。
2. ポイントの対象となる大会にグレードを定め(ポイント比率を決める)、ベスト16までの成績をおさめた者に規定のポイントを与える。
3. ポイントの対象となる大会およびグレードを以下に定める。  
なお、16才以下の大会は、グレードに応じて50%のポイントをベスト8までの成績をおさめた者に与える。  
また、ダブルスについては1/2(50%)のポイントを個人に与えるものとする。
4. シードは原則16本とする。

## ＜ポイント対象大会名＞

- ① 高体連春季大会
- ② 高体連札幌支部大会
- ③-A 北海道ジュニアテニス選手権大会18才以下  
-B 北海道ジュニアテニス選手権大会16才以下
- ⑤-A ダンロップカップ北海道ジュニアテニス大会18才以下  
-B ダンロップカップ北海道ジュニアテニス大会16才以下
- ⑥-B ウィルソンサマーカップジュニアテニストーナメント18才以下  
-B ウィルソンサマーカップジュニアテニストーナメント16才以下
- ⑦ 高体連秋季大会
- ⑨ 北海道ジュニア室内選手権大会18才以下

以下2大会は、平成27年度大会よりポイント対象大会から削除

- ④ 国民体育大会
- ⑧ 全日本ジュニア選抜室内テニス選手権北海道大会(Sのみ)

## ＜ポイント表＞

参考) ① JTPポイントでは大会のグレードを13段階に分けている

② JTPのポイント規定

1位=100%	2位=1位の70%	ベスト4=同45%
ベスト8=同25%	ベスト16=同15%	

専門部案

① ポイント規定を

1位=100%	2位=70%	3位=55%	4位=45%
5位=34%	6位=31%	7位=28%	8位=25%
ベスト16=15%とする			

各大会のポイント比率及び得点表

大会	春季	支部	道Jr 18	道Jr 16	ダンロップ 18	ダンロップ 16	サマー 18	サマー 16	秋季	道Jr 室内18
比率(%)	100	100	100	50	70	35	50	25	100	50
1位	1,000	1,000	1,000	500	700	350	500	250	1,000	500
2位	700	700	700	350	490	245	350	175	700	350
3位	550	550	/	/	/	/	/	/	550	/
4位 Best4	450	450	450	225	315	158	225	113	450	225
5位	340	340	/	/	/	/	/	/	340	/
6位	310	310	/	/	/	/	/	/	310	/
7位	280	280	/	/	/	/	/	/	280	/
8位 Best8	250	250	250	125	175	88	125	63	250	125
Best16	150	150	150	/	105	/	75	/	150	75

<運用規定・その他>

1. ドロー数が32本以下の大会の場合、初戦敗退でのBEST16はポイントにしない。  
ただし、道Jr18ダブルスについては、地区予選が行われているので、その限りではない。
2. 同じポイントの場合、シードは原則「振り」とするが、16シードのポイントを持つ選手が複数いる場合は、抽選とする。  
(ドロー表を作る関係で、専門部が厳正なる抽選を行う)
3. 団体の登録順位を決める際は、シングルのポイントを対象とする。  
(ダブルスの持ちポイントは考慮しない)
4. 各学校、団体戦の登録順位を付ける場合は、必ずポイントの多く持っている選手を順位の上位にすること。